

みずほCustomer Desk Report 2016/06/13 号(As of 2016/06/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	107.10 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.12	1.1311	121.13	0.9645	1.4461	0.7412
SYD-NY High	107.27	1.1321	121.19	0.9657	1.4473	0.7438
SYD-NY Low	106.56	1.1246	119.92	0.9616	1.4180	0.7371
NY 5:00 PM	106.96	1.1256	120.34	0.9642	1.4248	0.7372
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.925/13.525		△25RR	1.995	Yen Call Over	
NY DOW	17,865.34	▲ 119.85	債券市場	日本2年債	-0.2690	▲2.5bp
NASDAQ	4,894.55	▲ 64.07		日本10年債	-0.1400	▲1.5bp
S&P	2,096.07	▲ 19.41		米国2年債	0.7265	▲4.1bp
日経平均	16,601.36	▲ 67.05		米国5年債	1.1671	▲5.4bp
TOPIX	1,330.72	▲ 6.69		米国10年債	1.6404	▲4.6bp
シカゴ日経先物	16,380	▲305.00		独10年債	0.0200	▲1.3bp
ロンドンFT	6,115.76	▲116.13		英10年債	1.2320	▲1.1bp
DAX	9,834.62	▲254.25		豪10年債	2.1020	0.9bp
ハンセン指数	21,042.64	▲255.24		為替市況	USD/CNH	6.6044 0.0197
上海総合	-	-		ドルインデックス	94.57	0.62
USDJPY 3M Vol	11.95	0.61%	商品市況	CRB指数	192.888	▲2.23
USDJPY 6M Vol	11.65	0.47%		NY金	1,275.900	3.20
EURJPY 3M Vol	13.34	1.12%		WTI	49.070	▲1.49
EURJPY 6M Vol	12.66	0.85%		Dubai Spot	46.78	▲0.95

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
6月10日	08:50	日	国内企業物価指数(前月比/前年比)	5月 0.2%/-4.2%	0.1%/-4.2%
	15:00	独	CPI(確報、前月比/前年比)	5月 0.3%/0.1%	0.3%/0.1%
	15:00	独	EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	5月 0.4%/0.0%	0.4%/0.0%
	21:30	加	雇用ネット変化/失業率	5月 13.8K/6.9%	1.8K/7.2%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド(速報)	6月 94.3	94.0

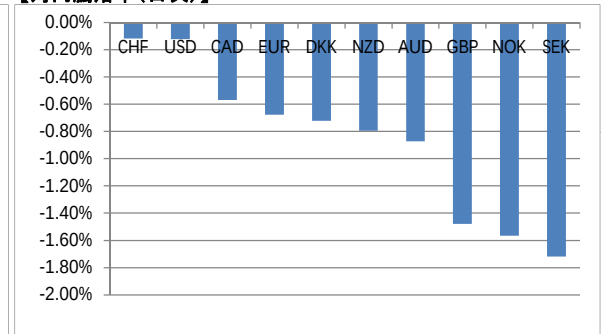
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
6月13日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	5月 6.0%	6.0%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	5月 10.1%	10.1%
	11:00	中	固定資産投資(年初来/前年比)	5月 10.5%	10.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.30-107.20	1.1200-1.1300	119.50-120.50

先週末の海外市場ドル円相場は、106円後半～107円台前半でもみ合いとなった。東京市場のドル円相場は、5・10日要因による実需筋のドル買いがみられたものの、英国のEU離脱懸念や株式市場の軟調地合いを背景に106.60近辺へと軟化した。米州時間に入り、英紙が報じた世論調査の結果でEU離脱派が残留派を上回っていることが明らかになると、ユーロが急落。ユーロ円が2013年4月以来の120円割れとなる中、ドル円もこれにつられて106.60近辺まで下落。引けにかけては、EURの軟調推移に伴うドル買いにドル円もドル買い優勢の中107.00近辺まで値を戻し越えた。本日のドル円相場は、106円台後半を中心にみ合いが続く。今週予定されている米FOMCや日銀金融政策決定会合などを控えて様子見ムードが強く、動意に乏しい展開が続く。 (吉田憲)

東京	朝方発表された本邦5月国内企業物価指数(前月比)は+0.2%と市場予想(同:+0.1%)を上回る結果となるも、相場の反応は限定的。東京時間のドル円は107.12レヘルでオープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付き下落幅を拡大するとドル円は一時東京時間安値となる106.91まで下落。しかし、五・十日に当たることもあり仲値にかけて実需勢のドル買い期待等から反発に転じると、仲値後に一時107.27まで上昇した。その後は目立った材料のない中、14-15日にFOMC、15-16日に日銀金融政策決定会合と重要イベントを控える中で様子見ムードが強まる展開。日本国債10年物利回り一時マックス0.155%と過去最低を更新する局面などもあったが、ドル円107円台前半を中心とした方向感に欠ける推移が続く、結局107.05レヘルで海外へ渡った。(東京15:30)
ハンセン	ロンドン市場のドル円は下落する展開。107.05レヘルにてオープン。6月23日に英国でのEU離脱の是非をめぐる国民投票を控える中、離脱の懸念も意識されリスクオフの動きが強まり円が買われ、106.68まで下落。ポジション調整等から一旦107.10まで上昇するも、106.71まで値を戻した。その後は上値の重い推移となり106.82レヘルにてNYへ渡った。ユーロドルは横ばい、1.1302レヘルにてオープン。一度は1.1321まで上昇したが、1週間ぶりに1.13台を割り込み1.1281を付けた。その後は14-15日にFOMCや15-16日に日銀金融政策決定会合を控え、小幅推移となり、1.1303レヘルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 丸野 00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は106.82レヘルでNYオープン。米6月ミシガン大学消費者信頼感指数は、先行景況感が前回から低下した一方、景況感が前回から改善したことから予想を上回ったが、ドル円の反応は限定的となった。その後は軟調な株式市場が下げ渋ったことから、ドル円も下値をじりじりと切り上げ、107.19まで戻す。午後に入り、週末を控えて流動性が低下する中、民間調査会社の世論調査で、英国のEU離脱派が55%・残留派45%と離脱派が増加したこと、ポンドが急落、ドル円もリスク回避の動きから106.56まで下落した。終盤に掛けては調整から徐々に値を戻し、106.96レヘルでクロスした。一方、英国のEU離脱の懸念等から、ユーロポンドが上昇する動きに、ユーロドルは1.1321まで上昇したが、その後は狭いレンジでの推移が続く。1.1303レヘルでNYオープン。朝方は方向感の無い狭いレンジでの推移が続くが、株安を受けたリスク回避の動きにユーロ円が下落し、ユーロドルも連れて徐々に1.1272まで下落する。午後に入ると前述の世論調査の結果が明らかになり、ポンドの下落に連れる形で1.1246まで下落する。終盤に掛けては、安値圏での推移が続く1.1256レヘルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 吉田・森谷